

木造家屋建築工事における金属材料を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	裏手の少し狭い所で雨天時に外部足場の解体作業中、足場材（1500手摺）を受け取りした時、雨で材料を取り損ねて滑り、手摺のくさび部分が親指と人差し指の間を強打し、左手を5針縫う怪我をした。	36	1～9
1	7～8	社内の加工場で、トラックの荷台に前日の工事が出た板金屋根廃材を荷おろし中、左手の平を廃材に引っ掛けて負傷し、10針縫う大けがを負った。	43	—
3	9～10	屋根工事の登板金取付時、棟際に押さえを差し込むのに両手の力をいれ、バランスがくずれ、薄いビニール手袋着用のため右親指を裂傷する。	38	10～29
4	10～11	足場を解体中、1段目の足場板に2本立てかけようとした時に、そのうちの1本（H3600）が足場が揺れて倒れかけたので押さえようとし、左小指が支柱にはさまり怪我をした。	28	1～9
4	16～17	既存住宅解体工事現場で、撤去した廃材の鉄製補強材を片付け作業中、その鉄製補強材に左手指を挟み負傷した。	21	1～9
5	10～11	個人宅新築工事現場において、床合板を貼る作業中、誤って足を滑らせ、床下の排水配管の支持金具のボルトを踏み抜き左足甲を負傷した。	40	1～9
5	11～12	コンクリート壁取付け窓枠を外す作業中、窓枠部分の上部がなかなか外れず、力を入れた際に右手人差し指の靭帯を痛めた。	58	10～29

5	15～ 16	工場1階でアルミ表面処理ラインのロードストック架台を組立中に、鉄製部材（150D×4,150W×2,440H、約350kg）をフォークリフトで起こし、立てた状態で被災者が支えていたが、鉄製部材が傾き倒れ始め、それを支えようとしたが支えきれず、鉄製部材と床面との間に顔面から胸部にかけて挟まれた。	30	～ 9
5	16～ 17	個人宅解体工事現場にて、H鋼のボルトを外す作業をしている時、足場高さ2.5mの高い場所にいた際、H鋼の片方が外れていないと思いボルトを外したところ、H鋼が外れて右足先に落下し負傷した。	26	～ 9
5	14～ 15	現場から会社の倉庫へ持ち帰った鋼管をトラックの荷台から下ろす最中、鋼管が滑ってトラック荷台ボディと鋼管に右手を挟み負傷した。当初は切傷と思い様子を見ていたが、右手小指の腫れがひどく、痛みが強くなった。	60	～ 29
6	9～ 10	構内、製函作業において、手動製函機にて作業中、自動製函機への箱の補充に移動する際、ダンボールの水漏れ防止の為に敷いてあるパレットに躓き、右肘から地面に強打し、右肩を脱臼した。	37	～ 9
6	16～ 17	個人宅リフォーム工事現場において、木工事造作作業中、床に置いてあった古材に釘が刺さっていた為、気付かず踏んでしまい受傷した。	24	～ 9
7	9～10	住宅足場組立て業務作業中、1段目（2m位）にいる同僚に鉄製部材（1800手摺）を渡したが、同僚の手がすべり落下した。「あぶない」との声に振り向いた際、部材が右側顔面に当たり右頬骨上顎骨折した。飛ばされ、右足も負傷した。	51	～ 9
7	11～ 12	作業場にて物置の運搬を容易にする為に物置を作業台にあげて物置下に土台をつけたり、ワイヤーをかける作業中作業台がはずれ物置が滑り落ち足を負傷した。	74	～ 9
7	11～ 12	解体工事作業中、現場内に落ちていた木の板にクギが刺さっていたが、それに気付かず踏んでしまい、クギが上を向いて刺さっていたため、左足裏上部を負傷した。負傷日より痛みは少しあったが、仕事が出来る程度の痛みだったため就業を続けたが、痛みが酷くなってきた。	51	～ 9
	11～	修理現場で、ステンレス鋼板を加工中に、誤って右腕をステンレスに引っ掛けたも		10

9	12	のである。	30	～
				29
9	9～ 10	新築工事現場において、現場で軽量鉄骨（50cm×50cm×3m、30kg）を2人で運んでいる最中。1回休憩するために資材を地面に下ろそうとした際にバランスを崩し、資材の角の部分で左肘から手首にかけて切傷した。	45	～
				29
9	18～ 19	建方工事中、1階玄関ポーチの金物へのキカイ釘打ちの作業を行っていた。ポーチ土間があった為、釘打ち機を水平に使用し、暗い状況での作業で、キカイ釘の刃先が良く見えない状況だった。	23	—
9	18～ 19	当社工場構内に於いて、雨が降りそうな天気予報なので、トラックの荷台に載っている外壁用角浪鉄板の束を降ろそうとしている作業中、トラックの側板を倒して、荷台の上に勢いよく飛び渡ろうとした際、薄暗くなってきたこともあり、角浪が荷台より少し丈突き出ている事に気付かず、角浪の端部に左足の膝ねんぼの上を激突させてしまい、負傷した。	32	～
				29
9	9～ 10	リフォーム工事において、足場の組み立て作業中、トラックの荷台に積んでいる足場の建地（重さ約13kg）を荷台に乗って降ろしていた時、積んでいた建地につまづき荷台から転落した際、荷台上の建地が崩れ落下した建地と地面に右手首を挟まれ、骨折負傷する。	32	～
				9
10	11～ 12	リフォーム工事中、家の中の解体作業中に板に刺さっていた釘を誤って左足で踏んでしまう。大丈夫だと思いそのままにしていたら、化膿して足が腫れてきた為、通院し入院となる。	61	～
				9
10	15～ 16	新築木造現場で、屋根タル木を取り付け作業をしている時、釘打機で使うロール釘の連結している針金が、釘を打った時に左目に跳んできた。負傷した次の日から1週間は痛みがなかったが、1週間ほどたって痛みが出てきた。	22	～
				9
10	11～ 12	建物内地上で鉄骨梁材をクレーンで吊り上げる作業を行っていた際、足元に梁材を立てて置いた状態で上空のクレーンのフックを確認、手に取ろうとしたため、梁材が足元に倒れてきた。目を離していたため避けることができず、梁材に取り付いたプレート部分で左足に15cm程度の裂傷を負った。	49	～
				9

11	11~ 12	リフォーム工事に使用する窓枠を加工する為の材料（長さ4m×2~3kg）3枚を、自社作業場において、手に持っていたが、手が滑り材料が足の上に落ちて負傷した。痛みがあったが我慢して仕事をしたが、痛みがひどくなった為、仕事が終わってから病院を受診した。	21	1 ~ 9
12	16~17	会社の工場の片付けをしている時、釘を踏んだ。皮膚科を受診したところイボと診断され、治療を受けたが悪化し、別の皮膚科に転院したところ、バイキンが入り腫瘍ができていると言われ手術をした。	19	1 ~ 9
12	9~10	新築工事現場において、2tトラック荷台側面より耐水石膏ボード（900×1,800）を降ろし、運ぼうとして進行方向へ向いたところ、一緒に並んでいた耐水石膏ボードが足元に滑り落ち、右足膝下部分に当たり、骨折負傷をした。	65	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html